



読書会「新潮文庫の100冊」

後期の読書会のテーマは「新潮文庫の100冊を読もう」でした。2年生の授業「保育相談支援」で、担当の亀谷美代子先生からみなさんに、参加の呼びかけがありました。本を読む楽しさや大切さを学生時代に身につけておいてほしいということからです。

当日、参加者は100冊のなかから選んで読んだ本について、面白かったところ、感動した場面、気に入った文章などメモを準備して紹介しました。授業を通して、1冊の本を読み通した学生も少なくありませんでした。

提出されたレポート（感想）は、優れた内容のものが沢山ありました。そのなかから、自分の考えが言葉でよく表現できているという点で、1クラスにつき1名を選ばせてもらいました。

また掲載にあたっては、誤字脱字を修正し、全体を統一するため表現を調整しました。

『坊っちゃん』（夏目漱石）

T.S

「坊っちゃん」は決して性格の良い、人助けなどをするモラルの高いキャラクターではない。しかし、時に人を助け、時に傷つき、時に反省をして少しずつながら大人になっていくそんな主人公が私は大好きである。だからこそ、私も明日から頑張ろうと思える力を彼から多くもらえる。夏目漱石の作品で私は一番好きである。初めて読んだのは中学生の頃に何度も読み直した。

この作品は、文学的にここが面白いとか、表現方法が好きだとか、歴史的に見て印象的だったという細かい理由は置いて、とにかく笑える作品である。

学校を舞台にしているところが学生や若い人も読みやすいと思う。古くさく感じないような人間の感情をメインにしている点が好きである。私たち若者も気軽に読むことができる作品だと思う。

主人公の「坊っちゃん」は田舎の学校に赴任して様々な人間と関わりながら成長していく物語であるが、基本的に主人公のモノローグで進んでいく。主人公の話し言葉で物語が進むことが読みやすいと感じた。また、性格がとて個人的で曲がったことが大嫌いな上に少し自己主張が強いために、感情が変わっていくのが魅力と感じる。さらに登

場人物を「赤シャツ」や「マドンナ」というように主人公の主観であだ名をつけている。悪口ではないかという表現も多いが滑稽で楽しい。国語が苦手、小説や読書が苦手という人にはぜひ読んでもらいたい。私はこの作品をきっかけに本が大好きになった。そんな魅力的な作品であるからこそ、色々な人に伝えたいと思う。

今日において本を読むこと、新聞を読むことを始め、パソコン、携帯電話など情報機器の普及によって文字離れが起きている。今回の読書感想文という課題を行うことで、あたためて問題意識を持った。

来年から認定こども園で保育教諭として就職が決まった。残りの学生生活も有意義に使い、沢山の本や新聞を読みたいと考えている。

(2003 年刊)



『西の魔女が死んだ』 (梨木香歩)

M. R

私はおばあちゃんが大好きです。とにかく愛が深く、言葉もずっしりと重みがありとても心に響きます。それだけ大きく深い人です。自分のことよりも、娘や孫、そして愛する夫の為に尽くし、生きています。厳しさの中にも優しさが大きくあります。皆おばあちゃんが大好きです。そんなおばあちゃんから産まれ、育てられた母の元に私が産まれてくることができたことを幸せに感じています。

『西の魔女が死んだ』という本は、おばあちゃんと孫の話です。私は自分とおばあちゃんを重ね合わせて読みました。学校に行きたくない孫のまいが、少しの間おばあちゃんの家で暮らし、その中で成長していく話です。

実はまいのおばあちゃんは魔女であり、まいも魔女になりたいとて修業をします。その修業の基本は「自分で考える」です。まいは、おばあちゃんに教わろうとしますが、「自分で考えなさい」と言われるばかりです。まいは次第に、自分で考えて行動できるようになります。しかし、あることがきっかけで、まいとおばあちゃんは仲を壊してしまいます。そして、心に憎しみを抱いたまま、2人は永遠の別れをすることとなってしまいました。

まいは後悔し、涙がポロポロ落ちました。しかし、まいは、色々なことを乗り越えて、自分で考えて、生きていく強さを持ちました。それは、おばあちゃんと沢山話して、濃い時を過ごした時間があったからです。楽しい思い出も、一瞬にして憎しみに変わってしまうことはきっと沢山あると思います。でも、いつ死ぬか分からないと思って日々を過ごせば後悔は少なくなると思いました。

大好きな人とは、会えなくなってしまうけど、ずっと心の中にいるものです。いつまでも人を思うことで、きっと素敵な人生になると思います。私もおばあちゃんとの思い出や、教えてもらったこと、大きくて深い愛を、自分の子どもにも、孫にも、ずっと伝えていきたいと思いました。

保育者になった際も、自分で考えて、人のことを思って生きることが、一番大切だと思います。ずっとその気持ちを忘れずに、伝えるべきことは伝え、その時に悔いなく生きたいと思える本でした。

(2001 年刊)



『母性』 (湊かなえ)

A. N

この小説は、娘の回想、母親の手記、母性について、3つの視点からそれぞれの思い、様子が描かれています。

冒頭から、火事による祖母の死、姑のいじめ、何もしない父親、律子の子どもの異常な行動、第二子の死産など不幸の連続でとても気持ちが重くなりました。母性とは必ずしも本能、愛情につながるわけではないのだと感じました。

母親はいつまでも「娘」のままでした。娘は母親の「愛」だけを求めて生きている、けれど母親が娘に与えていたのは、歪んだ愛情でしかないと思いました。「愛情とはエゴとエゴのぶつけ合いだ」という言葉がとても印象的でしたし、その通りかもしれないと思ってしまうことに少し怖くもなりました。相手、子どものためと思っしていることも、実は自分のためであり、時に相手を傷つけてしまうという結果をもたらしてしまうこともあるのだと思いました。そう感じたのは、娘の回想、母親の手記のそれぞれの語り的手法で、お互いの気持ちを見ることが出来ます。けれどその思いはすれ違い交差し続けていました。もう少しお互いが自分の気持ちを伝え合っていたら、結末はもう少しよくなっていたのではと思いました。

娘は最後まで母親の愛情を求めていたのに、子どもができたことを伝えると「おばあちゃんが喜んでるわ」と言われ、「ママはどう思ってるの?」と心の中でつぶやくところに、私は悲しさと、母親への怒りを感じました。けれど「時は流れる。流れるからこそ母親への思いも変化する。それでも愛を求めようとするのが娘であり、自分が求めたものを捧げたいと思う気持ちが、母性なのではないだろうか」という娘の言葉に少し安心した気持ちで本を読み終えることができました。

母親にされてきたことを愛情と捉えてしまえば、娘も自分の子どもに同じやり方で歪んだ愛情を注ぎ続けてしまうでしょう。けれど娘が求めていたのは「母からの愛」だけなのです。その愛は、時にはただのエゴになってしまう時もあるかもしれませんが、愛溢れる母親と子どもの関係になるだろうと感じました。

この小説を読んで「母性」とは何か考えさせられました。いつか自分に子どもが生ま

れた時、その瞬間どう思うか。きっと、嬉しさと命がけで育てたい、愛情を注ぎたいと思うでしょう。けれどその愛が本当に子どものためになっているかと、その時にこの本のことを思い出し、不安になってしまうと思います。

私は家族が大好きです。「生んでくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えたいと今とても思います。そう思えるのは、今まで私に注いでくれた両親の愛情を感じて生きてこられたからだと思います。私も同じように、自分の子どもを愛して、育てたいと思える気持ちに間違いないと強く思います。自分のこれから、「母性」について深く考えることができたこの本に出会えてよかったです。

(2015 年刊)



『残るは食欲』 (阿川佐和子)

N. M

作者、阿川佐和子さんについては、祖父がよく見ていたテレビ番組の司会をしていて知っていたのですが、それ以上はどんな人なのかよく知りませんでした。

1953 年生まれの 63 歳、慶応大学出身。父親は作家で、自身も作家として文学賞を受賞しています。

この本は、雑誌「クロワッサン」に連載されていた食のエッセイをまとめたもので、読んでいると自然にお腹が空いてくる一冊です。

「一丁の至福」では、晩ご飯を食べ損ね、空腹の阿川さんが、朝まで我慢して何も食べずに過ごすかどうしようか迷います。冷蔵庫の中を見ると、先日、渋谷の商店街の豆腐屋で買った豆腐が入っており、だし汁をとって湯豆腐にして食べるとあまりのおいしさに感動したという話ですが、飾らない表現で書かれていて、読んでいると阿川さんの姿や表情まで目に浮かびます。お腹がぺこぺこで、醤油とポン酢をかけて食べる熱々の湯豆腐を想像するだけで、私もお腹が空いてきました。

「お腹が空いているときと満腹のときと、はたしてどちらがシアワセだろうか」という文章があります。阿川さんはお腹が空っぽな状態で食卓について「さあ、これからおいしいものを食べるぞ」と期待に胃袋を膨らませる瞬間の方が「ああ。もう入らない！」と叫ぶ時よりも、ずっとシアワセだと感じるそうです。私もこの意見に賛成です。心で感じる幸せも同じようにいえるのではないかと感じました。人は、もうこれ以上の幸せはないと思うときより、これから起こる出来事に思いを馳せ、楽しみにするときが一番幸せを感じるのではないかと思います。遠足が楽しみで、前日になかなか眠れない子のように、いつも心の中の胃を空っぽにして美味しい幸せを見つけていきたいと思っています。

(2013 年刊)



読書会に参加して

O.M

今回読書会に参加して、ほかの友達を読んだ小説について教えてもらうことができ、とても良い経験ができました。実際に読んで、その人が、その人なりに感じた点などの話を聞くことができ、良かったです。同じ本を読んだ人達でも、一人一人感想の着眼点が違ってとても面白かったです。

普段、読書の習慣がなかったのですが、今回読書の楽しさを知ることができたので、これからもっと様々な本を読んでみたいと思いました。

(コナン・ドイル『シャーロックホームズの冒険』の感想文より)

私たち(1年生)のおすすめの絵本

『たこやきのたこさぶろう』長谷川義史作・絵

S.T

ある日、たこさぶろうが「いかせておくんなせー」と言い出します。それを家族が止めるのですが……。読んでいくうちに、たこさぶろうが「いかせておくんなせー」と言っていた理由がわかると、胸がほっこりするお話です。登場人物は、大阪弁を使っているので、ほかの絵本と違って読んでいておもしろい絵本です。登場する「おっちゃん」と「たこ」の表情もおもしろいので見ていて楽しいです。



(小学館)



『ぼく、仮面ライダーになる!』のぶみ作

T.M

絵の中にある小さな文字を読んでもみると、クイズや作者にとっての最高傑作が書いてあって、何回読んでもおもしろい絵本です。

(講談社)

卒業を迎えるみなさんへ

『10分あれば書店に行きなさい』(斎藤孝)

図書館 高橋 和子

3色ボールペン情報活用術で有名な斎藤孝さんの1冊です。ちょっとした隙間の時間を使って本屋さんへ行く。とても面倒なことだと思います。知りたいことはインターネットで探せばすぐに出てくるし、お金も掛かりません。しかし、本屋さんへ行くことで気分転換になるとともに、探していた物が偶然見つかったり意外な発見ができたりと楽しいものです。「新書の立ち読みで1分間読書」や「理系書架で伝記



を見つける」といった書店の使い方を教えてください。今後、就職して本を読む時間も少なくなっていくと思いますが、この本に載っているちょっとした時間を使った読書法も試してみてもはいかがでしょうか。(メディアファクトリー新書)

『置かれた場所で咲きなさい』(渡辺和子)

図書館 大久保 美玲

学生時代、本書の著者である渡辺和子先生から特別講義を受ける機会がありました。当時の渡辺先生の印象は「ものすごく厳しい人」。世間を知らない学生の私は「シスター=優しい」としか考えていなかったのですが、その厳しさに幻滅すら覚えました。しかし、今、本書を読むと、あれ程厳しい方だったからこそ、幾多の困難を乗り越えることができ、「置かれた場所で咲く」ことができたんだと納得できます。

本書は、渡辺先生のような厳しさや底知れないパワーを備えていなくても、少し考え方を变えるだけで、今の苦しい状況を乗り越えられるヒントを沢山くれます。みなさんも、新しい環境で行き詰まることばかりあるでしょう。そんな時は、是非この本を手にとってみてください。心が少し楽になるはずです。また、渡辺先生と同じ名前「かずこ」さんが書いた『逃げ出したいと思ったら読む本』(石原加受子/祥伝社黄金文庫)もオススメです。『置かれた…』よりもさらに具体的な内容で、軽やかに困難を乗り越えるヒントを与えてくれます。

(幻冬舎)



『生きがいについて』(神谷美恵子)

図書館 原 真由美

神谷美恵子は、長島愛生園(岡山)で、精神科医として長年ハンセン病患者の人たちに寄り添いました。人々から見放され、隔離された人たちのもとに自ら歩み寄り、手をさしのべました。この本は患者との交流から生まれたものです。

若い頃は父親に反対され、家庭を持ったのちは、ひとりの母親として、また研究者としても活躍し生活は多忙を極めますが、絶望の淵に沈む人々を救いたいという使命を持ち続けました。この本には「自分でなくてはできない仕事をえらぶのがよい」という言葉があり、神谷美恵子自身が選んだ道を表していると感じました。選んだ仕事と誠実に向き合えば、誇りを持つことができます。社会に出ると今までの生活が一変し自由な時間が少なくなります。しばらくは忙しいでしょうが、余裕ができたなら、いつでもまた図書館へ来てください。

(みすず書房)



卒業後も図書館を利用できます

2年生のみなさん、卒業後も在学中と同じように図書館を利用できます。ライブラリーカードはそのまま使用できますので大切にしてください。貸出冊数は10冊、期間は1ヶ月です。勤務が終わってから足を運ぶ人、平日のお休みを利用してゆっくり資料をさがしに来る人、有効に利用する卒業生が大勢います。行事のアイデアに困ったときなど、ぜひ足を運んでください。

これからは、ホームページの活用を！

横浜女子短期大学図書館
YOKOHAMA WOMEN'S JUNIOR COLLEGE LIBRARY

検索
開館案内 資料検索 図書貸借申込 図書室について 発行物

当館について
図書館の現行の蔵書は118,000冊を数え、皆さんが卒業した学生生活が表れるように、授業に關する図書、科目の専門書や絵本はもちろん、教養・講義、読者のみなさんご満足できるようにしています。

開館時間
平日 9:00～18:20
土曜日（祭日、授業のある日） 10:00～14:30

休館日
日曜日、休日、本学行事の日、学期末の一日
臨時に閉館することがありますので、[図書館カレンダー](#)をご覧ください。

検索
検索の言葉で検索すると学校スペースで検索することができます。(ログイン)

条件検索

自宅から本もさがせます

カレンダーで開館日を確認

開館案内
学内の各所へ
貸出部、期間
貸出履歴の閲覧
予約
返書
別館（調）の借
返書（貸出し）の
貸出しの受付
お問い合わせ

入学希望者の方へ
図書館見学

お知らせ

2015.01.09 1月22日(木)に読書会(沢木耕太郎『深夜特急』)を開催します。

2015.01.06 1月22日(木)は学内学術研究発表会のため17:00で閉館します。

利用についてはこちら！

ニュースは随時更新！

卒業後は、必ず本館受付を通過して図書館へきてください。

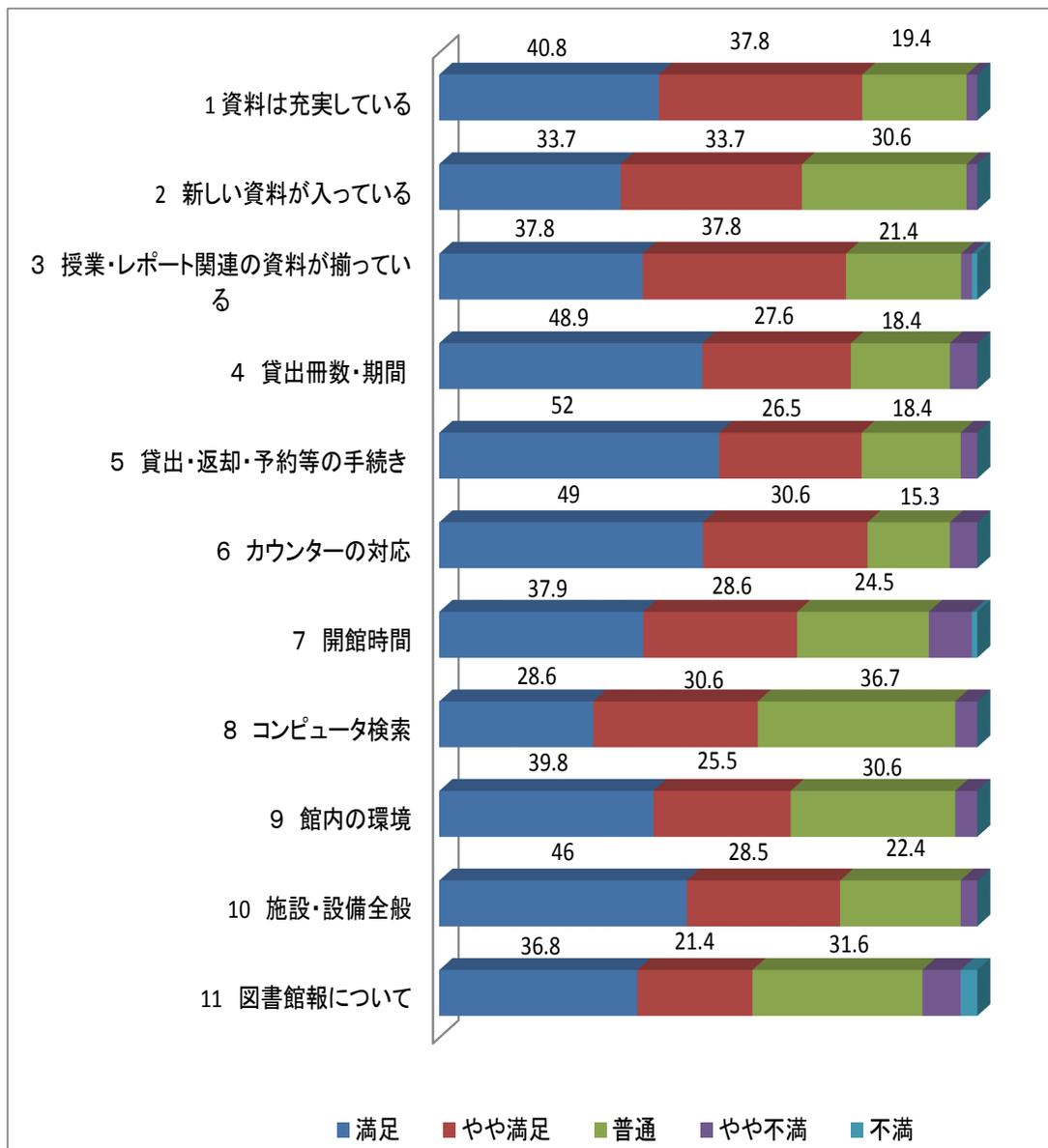
月～金曜日 9:00～18:20

前期・授業のある土曜日 10:00～15:00

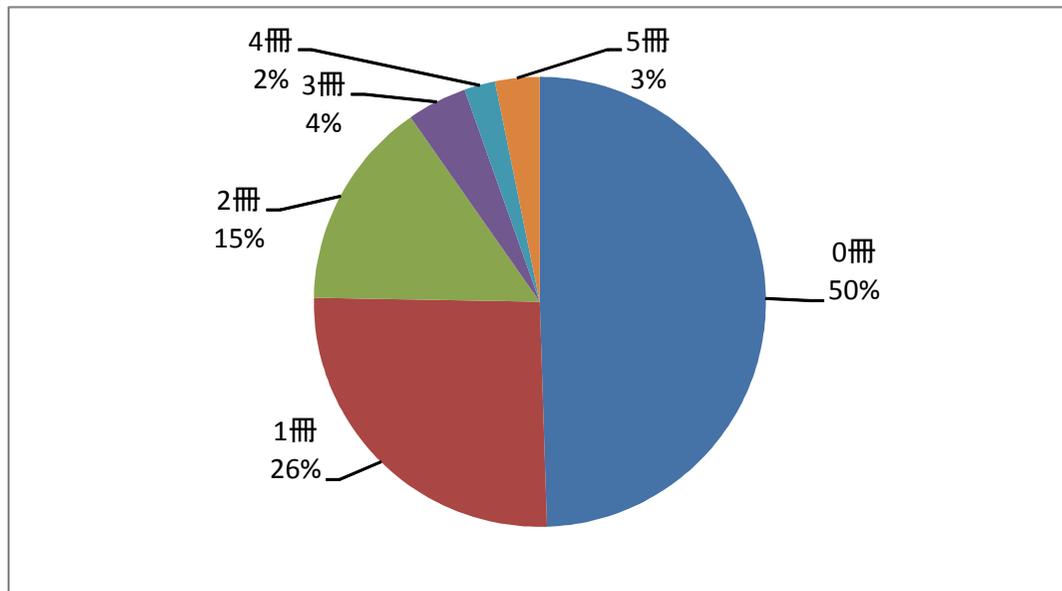
そのほか、オープンキャンパスの日も開館します。

図書館利用について（2年生・アンケート結果）

2015年12月19日（月）に「図書館利用についてのアンケート」を実施。2年生98名から回答を得ました。設問は、図書館サービスについての11項目を5段階で評価。集計結果は次のグラフのとおりです。ご協力ありがとうございました。



「最近1か月に何冊ぐらい本を読みましたか？（マンガや絵本、雑誌などは除く）」



1 か月まったく本を読んでいない（0冊）人は、49.5%（46名）、約半数いることがわかりました。1冊 25.8%（24名）、2冊 15.0%（14名）、3冊 4.3%（4名）、4冊 2.2%（2名）、5冊 3.2%（3名）（無回答5名をのぞく）。平均冊数は一人 0.9冊でした。

最近読んで印象に残った本、面白かった本を紹介してください。

七月隆文『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』／東野圭吾『白夜行』／松岡圭祐子『ミッキーマウスの憂鬱』／朝井リョウ『何者』／西加奈子『あおい』／湊かなえ『母性』／斉藤洋『ルドルフとイッパイアッテナ』／サン＝テグジュペリ『星の王子さま』／越谷オサム『陽だまりの彼女』／川村元氣『四月になれば彼女は』／京極夏彦『姑獲鳥の夏』／小川洋子『博士の愛した数式』／住野よる『君の膵臓をたべたい』／梨木香歩『西の魔女が死んだ』など。

後期定期試験のために 8:30から開館します！

いよいよ定期試験が近づいてきました。みなさん、朝もしっかり勉強ができるように8:30から開館します。

2月6日（月）8:30～18:20

7日（火）8:30～17:00

変更がある場合は掲示、HPでお知らせします。



ファッション雑誌・アンケートにご協力ありがとうございました。

現在受入中のファッション雑誌、娯楽雑誌の入れ替えを検討するため、みなさんにアンケートをお願いしました（期間 12 月 19 日～1 月 13 日、57 名回収）。

投票は、見本誌を置いて、読みたい雑誌を 3 誌選んでもらいました。みなさんからのご意見をもとに検討したいと思います。ご協力ありがとうございました。

	投票数	タイトル	出版社	ジャンル
1	26	Zipper(ジッパー)	祥伝社	原宿系・ストリート
2	16	ひよこクラブ	ベネッセ	子育て・ママ&ベビー
3	13	CREA(クリア)	文藝春秋	ライフスタイル
4	12	LEE(リー)	集英社	トラッド・カジュアル
5	12	かぞくのじかん	婦人之友社	くらす、そだてる、はたらくを考える
6	10	LARME(ラルム)	徳間書店	フェミニン・ガーリー
7	10	のびのび子育て	PHP	親と子がしあわせになる応援誌
8	8	kodomoe(こどもえ)	白泉社	『親子時間』をもっと楽しみたいママへ
9	7	como(コモ)	主婦の友社	園児ママのためのライフテーマ
10	7	MAQUIA(マキア)	集英社	ビューティー
11	6	nina's(ニナズ)	祥伝社	ママ&キッズ・親子ライフ
12	6	tocotoco(とことこ)	第一プロGRES	子どもと成長したいパパとママへ
13	5	bea's up (ビーズアップ)	セブン&アイ	ビューティー
14	4	Hug Mug(ハグマグ)	世界文化社	ママ&キッズ・カジュアル
15	4	momo(モモ)	マイルスタッフ	大人の子育てを豊に
16	4	ジュニアアエラ	朝日新聞出版	子ども向けニュースマガジン
17	4	天然生活	地球丸	ていねいな暮らしを楽しむ雑誌
18	3	食べもの文化	芽ばえ社	子どもの成長発達を支える親や大人むけ 食生活情報誌
19	3	リンネル	宝島社	やさしい暮らし&おしゃれマガジン
20	2	赤すぐ	リクルート	妊婦さんとママが使う通販マガジン



Memory

多くのご利用ありがとうございました



**2年生のみなさん
卒業後もお待ちしております！**

図書館カレンダー

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	<u>4</u>
<u>5</u>	6	7	8	9	10	<u>11</u>
<u>12</u>	13	14	15	16	17	<u>18</u>
<u>19</u>	20	21	22	23	24	<u>25</u>
26	27	28				

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	<u>4</u>
<u>5</u>	6	7	8	9	10	<u>11</u>
<u>12</u>	13	14	15	16	17	<u>18</u>
<u>19</u>	<u>20</u>	21	22	23	24	25
<u>26</u>	27	28	29	30	31	

— :休館日

2.6 8:30～18:30・2.7 8:30～17:00（試験）／2.26・3.25 13:00～16:00（オープンキャンパス）

*上記以外、2.8～3.31の期間は、9:00～16:45（月～金）です。

朝、授業の前など9:00前から利用したいときは、事務室に声をかけてください。
8:50ごろから開館します。

返し忘れの本はありませんか？

お願い

返却日の過ぎた図書が手元にありませんか？ わからない時はリストを出力できますので、カウンターまで確認にきてください。

予約やリクエストの連絡に便利なメールアドレスの登録を！

バーコード読み取り機能のついた携帯電話で読み取って
学籍番号と氏名を送信してください。

登録されたアドレスは図書館からの連絡以外には使用しません。



後記

2年生のみなさん、多くのご利用ありがとうございました。2年間で得た学びと同じ目標を持って過ごした友人は宝物になることでしょう。これからは社会人として、それぞれの場で力を発揮してください。応援しています。（原）

